

勝手に表彰 軌道交通芸術アワード

芸術の秋。展示会に行くのもいいですが、各軌道交通でも気軽にアートを楽しんでいただけますよ。今回は私、つなピエールが素晴らしい各軌道交通駅の作品を勝手に表彰しました。駅に立ち寄った時は、足を止めて鑑賞してみてくださいね。



スゴイ建築賞 14号線

豫園駅

上海最深部で動く心臓川のように波打つカラー

『上海脈動』
設計:行之建築設計事務所 Xing Design

昨年完成した14号線。こだわったデザインの駅が多い路線ですが、中でも「豫園」駅は息をのむ美しさです。呼吸の音が聞こえてきそうな色のグラデーション…。実は同駅は、上海市で最も深い位置にある軌道交通の駅。このデザインとカラーで、上海の中心の奥深くで動く心臓を表しているそう。プラットフォームから1階を見上げると、ハートの形が見える憎い演出があります。またこの路線は同時に、黄浦江の川の流れも再現しています。同駅は2022年、世界的に有名な建築プラットフォーム「アーキタイザー」の「A+アワード」で審査員賞を受賞しました。美しい駅、上を向いて歩きましょう！



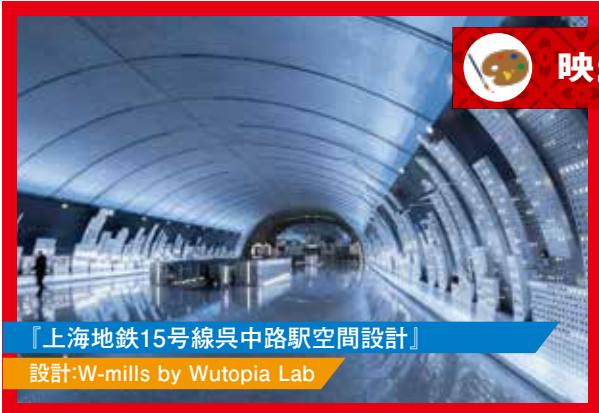
デジタル賞 14号線

陸家嘴駅

きらめき弾ける光の粒 112階に渡る水のうねり

『今朝踏浪 Gold Waves-Lujiazu Station』
設計:teamLab

「陸家嘴」駅の2号線と14号線を繋ぐ通路にあるのが「今朝踏浪」という巨大な、ブリック・アートです。112階の長い通路でダイナミックにうねる黄金の波は、とても迫力があります。アート集団チームラボによるこの作品は、コンピュータ上の空間で三次元上の水の動きをシミュレーションし、波を再現したもの。近くでよく見ると、小さな粒子の動きが合わさって波が表現されていることがわかります。長い通路全面に液晶パネルを設置し、絶えず動くアートを展示するのは何ともゴージャスな感じ。今までおしゃべりしていた通行人も、この通路を通る時は無言になるのが印象的でした。通路の明るさによって少し印象が変わるのもおもしろいですよ。



映えるで賞 15号線

吳中路駅

ここは未来都市上海 フォトジェニックすぎる駅

『上海地鐵15号線吳中路駅空間設計』
設計:W-mills by Wutopia Lab

駅改札内全体を使って、美しい未来都市・上海を表現しています。上海ではこだけという、改札内に一本の柱もないスッキリとした構造で、どこで写真をとっても映えそう。改札内両側に広がるシルバーでまとめた上海のビル群と、ピカピカと光る電飾は、まるで科学博物館の展示場にいるかのような錯覚を覚えます。シンプルで洗練されたものを好む上海人らしさを表現したという設計。そのままだとメタリックで冷たい印象がありますが、ちゃんとレインボーに光るところが、個人的には一番上海らしいなと思いましたよ。



美術館賞 10号線

同済大学駅

吹き抜けに光る絵画 巨匠の作品に囲まれる

『夢里徽州—新安江風情図』
画家:王観清

中国四季折々の風景を描く 中国の巨匠・王観清による作品が飾られています。高さ180センチ、幅32センチ、計19枚のパネルで構成された絵画は、清の時代・徽州における四季を描いています。実はこれは、元々長さ60センチもある同名絵巻物作品から抜粋したもの。元の作品は、上海世界博覧会にも出品されていました。王観清は元々子ども向けの読み物の挿絵作家でしたが、その後才能を認められ、上海市美術家協会の理事を務めた人です。「人民広場」駅にある牛のオブジェも、彼の作品からとったものなんですよ。



中国伝統賞 11号線

龍華駅

陶器を繋げて描く幻想世界 原色が伝えるお祭り気分

『龍華鐘鼓』
画家:蔣國興

寺の賑やかさを描く 有名なお寺「龍華寺」近くにある「龍華」駅は、構内も寺の雰囲気や反映したやや古風なデザインになっています。この陶器作品「龍華鐘鼓」は鮮やかな原色に塗られた陶器が目立つ作品です。ツルリとした陶器1枚1枚を丁寧に彩色した後紐で繋げ、お寺の風景や世界観を描いていて、近くで見ても遠くで見ても味わい深いです。この作品を手掛けた蔣國興は中国で有名な陶器作家で、上海東方芸術中心や上海中心、「上海国家展中心」駅にも作品が展示されているそうですよ。中国の伝統を感じるよい作品ですが、それにしても、一応囲みでスペースを取っているとはいえ、陶器をこんな人通りの多いところに展示して割れちゃわないか心配です。



大自然賞 3号線

大柏樹駅

窓から覗くメルヘンな花 季節限定の自然アート

『モクゲンジ』
開花:9月～、結実:秋

エモイプラットフォーム さあ最後は、大自然からのアートを届けましょう。3号線「大柏樹」駅では現在、窓から見えるモクゲンジの実がとってもエモい！とネットで話題になっています。モクゲンジは高木で、黄色い花が開いた後は、風船のように膨らんだピンクの果皮を結びます。3号線は地下ではなく高架上を走るので、駅のプラットフォームの窓が、ちょうどモクゲンジの高さと一緒なんです。秋の今は、窓から覗くキイロの花とピンクの果皮がとても美しく、プラットフォームとの組み合わせがメルヘンで映画のワンシーンのようだと評判ですよ。もうすぐ上海も紅葉のシーズン。あちこちの車両の窓からも、自然が織りなす美しい光景が見つかるはずです。